

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

| | | |
|---------------------------------|--|---------------|
| 名称：たかすな保育園 | 種別：認可保育所 | |
| 代表者氏名：瀬戸 富美江 | 定員（利用人数）：113名 | |
| 所在地：〒251-0046 藤沢市辻堂西海岸2-12-1 | | |
| TEL：0466-86-7676 | ホームページ： https://yukarifukushikai.or.jp/takasuna/ | |
| 【施設・事業所の概要】 | | |
| 開設年月日：2016年04月01日 | | |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 ユーカリ福祉会 | | |
| 職員数 | 常勤職員：26名 | 非常勤職員：14名 |
| 専門職員 | （専門職の名称）：名 | 幼稚園教諭：1名 |
| | 保育士：30名 | 看護師：1名 |
| | 栄養士：1名 | 管理栄養士：3名 |
| | 調理師：1名 | |
| 施設・設備 の概要 | （居室数） | （設備等） |
| | 居室：0歳児室 | 設備：調理室 |
| | 居室：1歳児室 | 設備：事務室 |
| | 居室：2歳児室 | 設備：医務室 |
| | 居室：3歳児室 | 設備：ランチルーム兼遊戯室 |
| | 居室：4歳児室 | 設備：ホール兼遊戯室 |
| | 居室：5歳児室 | 設備：休憩室 |
| | 居室：一時保育室 | 設備：トイレ |
| | 設備：園庭 | |

③理念・基本方針

<理念>

●社会福祉法人ユーカリ福祉会が運営する保育園は児童憲章の精神を基本理念とし、子どもの人権と個性を尊重し、自然を愛し、科学と芸術を学び、道徳的心情が培われる保育を推進していく。

●子どもたちを、個性と能力に応じて教育し、社会の一員としての責任を自主的に果たすように導き、また虐待や酷使、放任、その他不当な扱いから守り、愛とまことによって人類の平和と文化に貢献する子どもたちを育て導くために、児童に対する正しい観念を確立し、すべての児童の幸福のために、すべての叡智を結集し、保育として具現化することを法人の使命とする。

●ユーカリ福祉会は、創設以来、保護者や行政と力をあわせながら地域の子育ての良きパートナーとして、保育の様々な機能を最大限に生かし多様なニーズに応えてきた。今後も“子どもの最善の利益”のために、児童の福祉を積極的に推進し、合わせて地域における家庭支援も行っていく。

●児童の福祉を積極的に推進するために、職員は豊かな愛情を持って保育にあたり、児童の処遇向上のために知恵と力を出し合い、また知識や技術の向上に努め、地域の子育て支援のために、常に社会性と良識を研鑽するものである。

<基本方針>

1. ユーカリ福祉会の理念に基づき、食農保育、自然を大切にする保育を積極的に取り入れ、子ども自身が自主的・主体的に活動できる環境を整えていきます。また子どもの最善の利益のため保護者との連携・協働、地域との連携を大切にして安心できる保育園、信頼できる保育園を目指します。
2. 藤沢市の豊かな自然を子どもたちが享受できるような取り組みをし、食農体験を通して、古き良き時代の食文化を伝え、自然の恵みを大切にしてくれる子どもを育てていきます。保育園が地域との連携を積極的にとることにより、子ども達と地域の人が触れ合う機会を増やし、地域の中の子どもとしてのつながりや、子育てをキーワードとする『支え・支えられる』地域のつながり作りをしていきます。
3. 乳児については担当制保育（少人数制グループ保育）を行い、子ども達が安心して園生活を送れるように、基本的な生活習慣の確立、保護者との良好な関係づくりを目指します。幼児クラスは、年齢別保育をベースに発達に応じたコミュニケーションづくりを大切にした異年齢混合保育を取り入れ社会性を育てます。また幼児クラスの小部屋を活用して子どもの自主性・意欲・継続性を大切にしていきます。また各年齢「食」を大切にした保育を行っていきます。

<保育目標>

豊かなこころと 丈夫なからだ 生きる力のある子ども

- 心身共に健やかで笑顔が輝く子
- 自分で考え、行動できる子
- 自分を大事に、友達を大事にできる子

④施設・事業所の特徴的な取組

<たかすな保育園の特徴的な取り組み>

1. 食農保育の取組み
2. 自然とのふれあい
3. コーナーあそびの取組み
4. 異年齢交流等を大切にした保育
5. 地域育児支援の実施

⑤第三者評価の受審状況

| | |
|---------------|--|
| 評価実施期間 | 2022年04月20日（契約日） ～ 2023年02月20日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | 1回（2017年度） |

⑥総評

【たかすな保育園の概要】

●たかすな保育園（以下、当園という）は、社会福祉法人ユーカリ福祉会（以下、法人という）の運営であり、千葉県、東京都、神奈川県で12の保育園を運営し、それぞれ地域性を生かしながら個性豊かな保育園を展開しています。当園は、藤沢市立保育園の民営化により、平成28年4月1日に「社会福祉法人ユーカリ福祉会たかすな保育園」としてスタートし、旧公立保育園の中で1番園庭が広い保育園だったため、保護者の希望もあり、広い園庭があります。駐車スペースも3台分保有しています。園近隣には辻堂海

岸（辻堂海水浴場）や辻堂海浜公園等があり、空の広がり、澄んだ空気的环境下に恵まれ、散歩の機会を多く取り入れ、体作りや自然との触れ合いを大切にした保育を展開しています。

●当園の園庭はとても広く、園庭の周囲に畑・田んぼのスペースを設け、梅や柿等の実のなる樹も植栽され、梅干し、梅ジュース、干し柿等を作ったり、味噌作りも行う等、日本の伝統的な食文化の伝承にも努めています。畑では季節の野菜等を栽培し、収穫物を利用してクッキング保育を行い、積極的に食育・食農教育につなげています。子どもたちはクッキング保育の体験を親に話し、一緒に家庭で作ったという話も報告されています。子どもたちは園庭の樹木の間を走り、四季折々の自然を感じながら遊びを楽しんでいます。

●活動では、「食農活動」に力を入れ、「食」と「農」への関心を高め、種・苗から作物を育て・収穫をし、食べる一連の流れを体験し、この過程を通じて改めて食の大切さと、生き物をいただく理解を深め、感謝の気持ちが持てるようにしています。また、法人の保育方針である「どろんこ遊び」や「コーナー保育」等、担当制保育を導入し、充実した保育に努めています。

◇特長や今後期待される点

1. 【食農保育の取り組み】

当園は、広い園庭の周囲等を活用して畑や田んぼを設け、お米や野菜を栽培し、園庭で実る果物等の収穫物を利用したクッキング保育を実施し、「食」への意欲を高める取り組みを行い、園庭の樹木を生かしたジャム作りや、梅干し作り・梅ジュース作り、味噌作り等を実践し、日本古来の食の伝承を子どもと共にしています。食農保育では、栽培・収穫・食すという一連の活動を通して「いのちの糧」としての作物を得、食文化を自然の循環の中に知ります。子どもたちはこれらの体験を通して、食するためには、そこに育むという営みや食料としていく多くの作業が存在していることに気づき、楽しみながら学んでいます。また、子どもたちの解放的な空間となり、全身で泥の感触を体感できます。子どもたちは一日の生活の流れの中で畑や田を身近に感じ、視界の中にいつも自然に入ってくるような保育を実践しています。

2. 【自然を生かした保育】

当園では、子どもの「遊びたい」という意欲を尊重し、自主的な泥んこ遊びや水遊び、園庭遊び等を大切にしています。自然豊かな園庭では虫を探したり、木の実や自然物を活用した遊び等をのびのびと展開し、保育室では虫の飼育を通して、世話や成長観察の体験から命の学びも経験しています。園周辺には海や公園等、自然に恵まれた環境を生かし、散歩の機会も多く取り入れ、丈夫な身体作りや四季折々の自然との触れ合いを大切に、感性、五感、創造力、表現力を育てています。

3. 【子どもの気持ちに添った遊びの提供】

幼児の保育室は、2階の各保育室内にロフトスタイルで小部屋が造られており、それぞれのクラスに行き来できる連絡通路が設置されています。各々の小部屋では遊びのルールを設け、少人数で好きな遊びを集中して楽しむことができるようになってきました。小部屋付きの保育室はユニークな発想であり、子どもたちの秘密基地として限りない夢と工夫が生まれ、子どもの成長にとって夢の空間を提供しています。保育士は、小部屋への上り下りを含め、安全を確認しつつ、工夫して遊べるように援助しています。乳児保育室ではコーナーを作り、子どもたちが遊びを選択し、じっくり遊べる環境作りが成さ

れ、工夫が施されています。

4. 【子どもの姿を大切にした異年齢交流】

日常の遊びや生活の中で、自然の姿の異年齢の関わりを大切に、労わりや憧れの姿が育つよう取組んでいます。兄弟での関わりからクラス全体への広がりの中、大きい子も小さい子も表情豊かな様子が見られます。この異年齢交流にも小部屋は大きな役割を果たしています。小部屋の通路を行き来することで、異年齢が自然な形で交流できています。また、支援を必要とする子も可能な限り一緒に保育を行い、共に育ち合うことを大切に一緒に遊びます。現在は新型コロナウイルス禍（以下、コロナ禍）のため異年齢交流を見合わせていますが、アフターコロナの際はのびのびと交流する子どもたちの姿が期待されます。

5. 【地域の育児支援への取組み】

当園では藤沢市の一時預かり事業を実施しており、保育園入所対象外の就労している家庭の支援や、家庭で育児している保護者のリフレッシュ支援等、地域の子育て親子に育児支援を行っています。また、地域にある公民館の育児支援講座等へ保育士の講師派遣を行い、地域の育児支援に尽力しています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：社会福祉法人ユーカー福祉会 たかすな保育園

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取り組みの感想》

第三者の方々に保育内容や環境、書類関係を細部まで見ていただき、現状の課題が浮き彫りになったことでより良い保育を目指すための宿題ができました。この宿題も職員全体で向き合い、高め合っていきたいです。

保護者、職員の声が聞けたことで、温度差や評価、不足している部分など把握ができましたので、今後も利用者の満足度の向上、職員間のコミュニケーションの維持を心がけ、サービスを提供していきたい。

《評価後取り組んだ事として》

1. 保護者アンケートに出されていた危機管理の見直しと周知
2. 保育（行事マニュアル等）の見直し
3. 会議内容の見直し

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり